

令和6年2月14日

保護者 様

春日井市立岩成台小学校
校長 原 田 宗 敏

学校評価アンケートの結果について(お知らせ)

向春の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に、格別なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症へ移行となり、運動会や岩成っ子まつりなど、様々な行事を保護者の方の人数を制限することなく開催することができました。今後も、学校や児童の様子について、ホームページや通信などで随時お知らせしていきます。

さて、12月末にH&Sにより本校教育活動を振り返る目的で、学校評価アンケートを実施いたしましたところ、のべ175名の皆様より回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。結果については、裏面にお示しした通りです。

今後も教育委員会と連携しながら、今年度の教育活動について振り返り、保護者の皆様のご協力を得て、できることから少しずつ改善していきたいと考えております。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

<アンケート結果>

児童対象のアンケートでは「学校は楽しいですか」「授業の内容はわかりますか」「友だちと仲良くしていますか」など7つの質問に対して、9割以上の児童が『そう思う』『まあそう思う』といった肯定的な回答をしました。

保護者対象のアンケートでは「あなたのお子さんは学校に楽しく通っている」「学校は感染症対策や食物アレルギー対応など、健康を第一として取り組んでいる」「学校は、授業展開を工夫し、分かりやすい授業を行っている」「授業参観や運動会は、あなたのお子さんや学校を理解する場になっている」など8つの質問に対して、9割を超える保護者から肯定的な回答を得ることができました。

今年度新たに質問として加えたタブレット端末の有効活用については、9割以上の児童が「タブレットを使った学習は楽しい」と肯定的に回答し、8割の保護者から「本校は、タブレット端末を効果的に活用し、工夫して授業を行っている」と肯定的な回答が寄せられました。

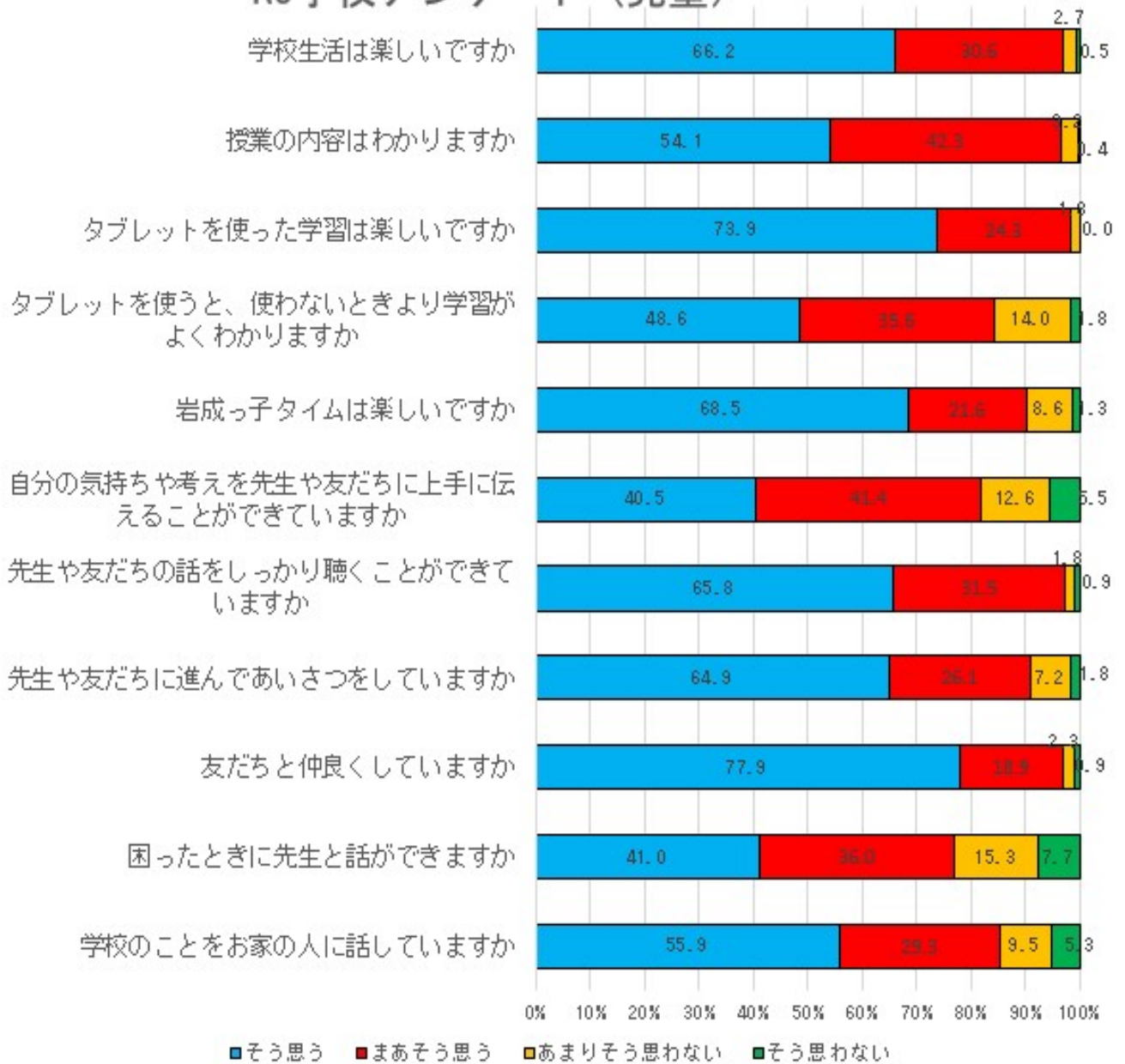
児童対象のコミュニケーションスキルについてのアンケート項目では「先生や友だちの話をしっかり聴くことができるか」の質問において、98%の児童が肯定的に回答しました。「自分の気持ちや考えを先生や友だちに上手に伝えることができますか」という質問には、82%の児童が肯定的に答えました。一方で、保護者の77%が「人の話をしっかり聴くことができる」と肯定的な回答をし、また、65%の保護者が「自分の考えを相手に上手に伝えることができる」と回答しています。児童と保護者の回答において「聴く力」「話す力」の両面で開きが見られますが、児童が「先生や友だちの話をしっかり聴くことができるようになった」「自分の気持ちや考えを先生や友だちに上手に伝えることができる」と自覚していることから、今年度より全校体制で取り組んでいるソーシャルスキルトレーニング(SST)や普段の授業での協働的な学習が成果を上げていると考えます。

「困ったときに先生に話している」と肯定的に回答した児童は77%で、前年度調査より約2ポイント減少していました。今後も児童には、定期的な教育相談だけでなく、何か困ったことがあれば一人で抱え込まず、担任や養護教諭、話しやすい先生、心の教育相談員、スクールカウンセラーなどに相談するよう、常に伝えていきます。これにより、児童が安心して悩みや問題を共有できる環境を構築し、今後も個のニーズに応じたサポートを提供していくことを目指します。

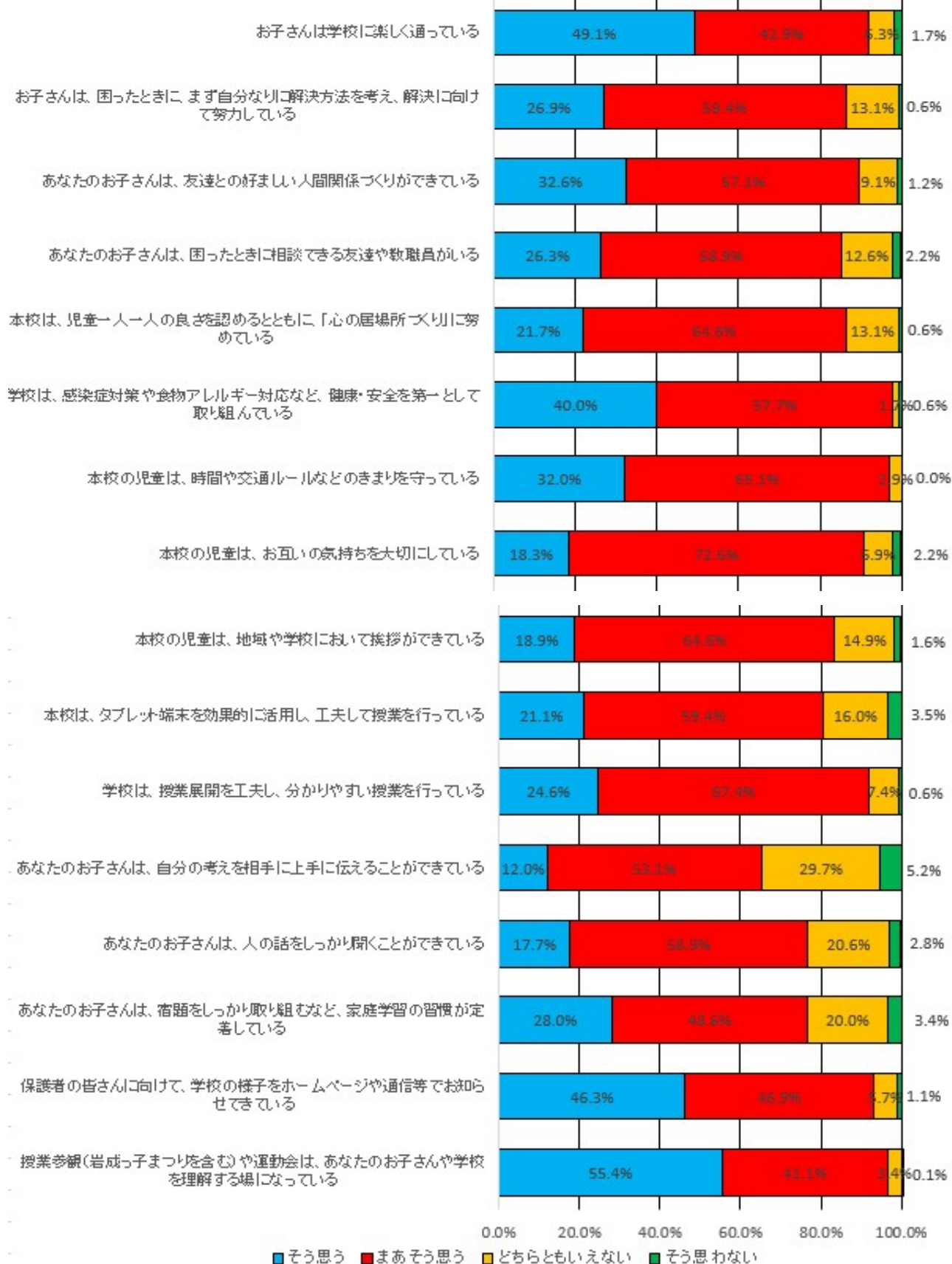
「本校で重点的に取り組んでほしいこと」についてのアンケート結果では「お互いを認め合う温かい集団づくり」が最も多く、次いで「分かるが実感できる授業の展開」「道徳性の育成」が挙げられました。

これらのアンケート結果を踏まえ、児童同士、教職員と児童が強い信頼関係を築き、すべての児童にとって「居心地のよい学級」「通うことが楽しい学校」となるよう、教職員一丸となって推進していきます。

R5学校アンケート（児童）

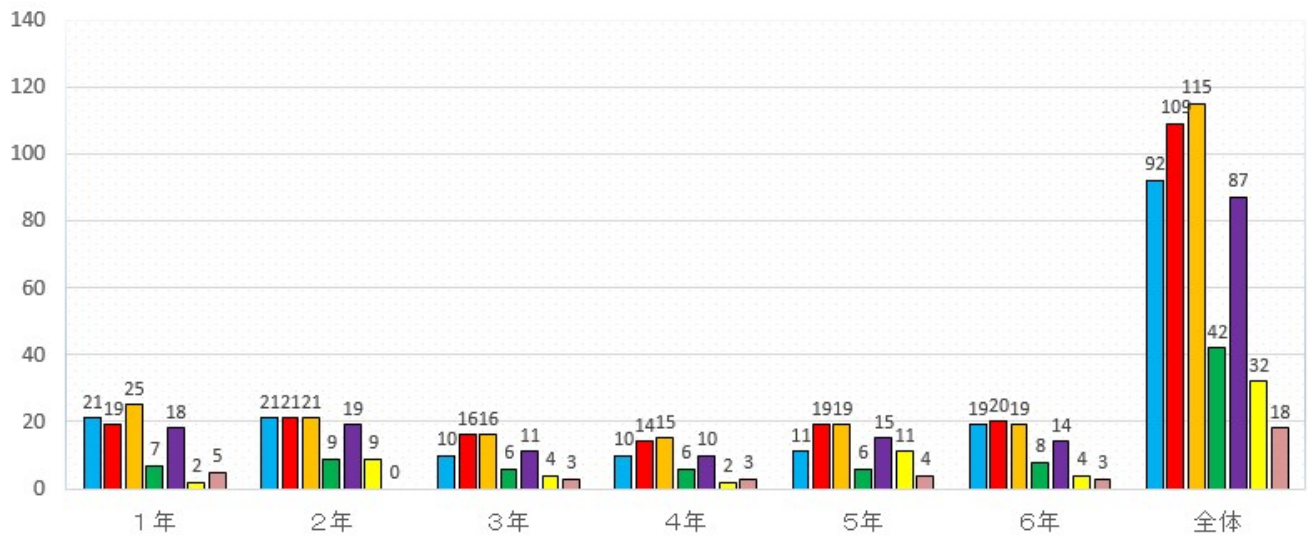


R5学校評価アンケート(保護者175名回答)



■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない

R6年度 本校に重点的に取り組んでほしいこと



- 道徳性(道徳的判断力、道徳的実践意欲など)の育成
- 「分かる」が実感できる授業の展開
- お互いを認め合う「温かい集団づくり」
- 体力の向上
- コミュニケーションスキルの向上
- 未然防止・早期発見・早期対応の観点からの生徒指導
- 地域や家庭への情報発信